

埼玉県地球温暖化防止活動推進センター センターだより



No.4

発行責任者 ● NPO法人環境ネットワーク埼玉

目次

環境省地球温暖化影響・適用研究会報告

<推進員研修会報告>

1. 新規地球温暖化防止活動推進員研修報告
2. 推進員交流発表会報告

<埼玉県地球温暖化防止活動推進センターからのお知らせ>

1. 一村一品全国大会報告
2. 暮らしのエネルギーセミナーinさいたま 報告
3. 省エネ住宅のアンケート結果

<地域・会員活動報告>

1. 地球温暖化防止地域セミナーinふじみ野市
2. 地球温暖化防止地域セミナーin熊谷市

<環境ネットワーク埼玉からのお知らせ>

1. エコライフDAY2007埼玉の結果
2. 平成20年度「特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉」総会案内他

◇ 環境省地球温暖化影響・適用研究報告 ◇

今世紀末は20世紀末より最大4.7℃上昇 地球温暖化を予測

環境省は、地球温暖化影響・適用研究委員会を開き、「日本の今世紀末の平均気温は20世紀に比べ最大4.7℃上昇する」という試算を発表しました。

この試算は、国連気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の報告書で使われた計算モデルをわが国にあてはめたものです。IPCCの報告書では、今世紀の世界の平均気温の上昇を1.1～6.4℃としています。気温の上昇幅は、二酸化炭素など温室効果ガスを出す経済活動に左右されるため、エネルギー多消費型、化石・自然エネルギーバランス型、環境保全型の3つのシナリオを想定しており、最も二酸化炭素の排出量が少ない環境保全型でも1.3℃上昇、エネルギー多消費型では最大4.7℃上昇する。北海道では最大5.8℃上昇すると試算しています。

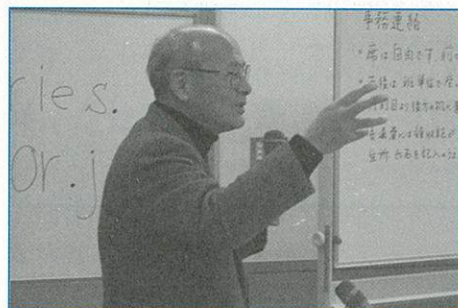
同委員会は、食料、自然生態系、水環境・水資源、健康、国民生活など7分野で中期的な対策を検討。5月末に中間報告をまとめる予定しています。

詳細はhttp://www.nca.or.jp/shinbun/20080118/noukai080118_02.htmlを参照ください。

推進員研修会報告

1. 新規地球温暖化防止活動推進員の研修会を開催しました

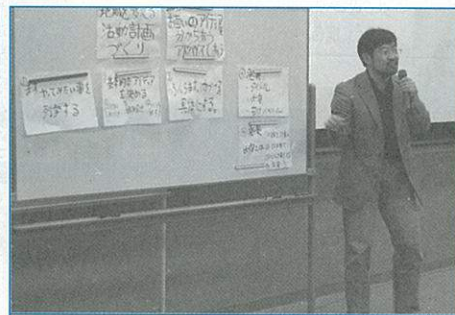
埼玉県地球温暖化防止活動推進員（以下推進員という）が新しく委嘱されます。委嘱期間は平成20年4月1日～平成22年3月31日です。推進員は、温暖化防止活動に意欲のある方に対して知事が委嘱するものですが、今回新たに委嘱を受ける方を合わせて254人となります。役割としては、各地域で温暖化防止活動の普及啓発を行うとともに、県、市町村、地球温暖化防止活動推進センターなどの関係機関との連携により温暖化防止活動の推進を図ります。今後の活動を円滑に推進するために平成20年1月26日（土）、1月28日（月）大宮ソニックシティビルにて新規推進員として委嘱を受けるための研修会を開催しました。基調講演は、国立環境研究所西岡修三参与による「地球温暖化防止から



低炭素社会への構築について講演をする西岡参与

低炭素社会への構築」です。温暖化防止は待ったなし！でも今ならまだ間に合います。みなさんのライフスタイルや生活を変

えることで低炭素社会（経済発展を妨げることなく、温室効果ガス排出を大幅に削減する）への大きな革命ができます。二酸化



ファシリテーションについて講義をする小寺講師

化炭素削減はまだまだですが省エネで何とかできます。これからも推進員が温暖化防止に向けて先頭に立って一生懸命努力して、社会に提言していけば、かなりの効果を発揮することができるかと熱く訴えられました。

午後は、小寺昭彦講師による「推進員活動を始めよう～地域から温暖化を防止するために～」というテーマで、今回初めて委嘱される推進員が地域で連携をとりながら活動していくための仲間づくりを目的としたワークショップを行いました。講師のリードにより和気あいあいというムードになりました。研修会を通してお互いの活動が支援できるようなきっかけ作りができましたので、今後の地域活動の活発化を期待したいと思います。

2. 推進員活動交流発表会を開催しました

平成20年1月27日（日）さいたま市浦和コミュニティセンターにおいて、今年度の推進員活動を支援する目的で公募した企画コンペの発表会も兼ねた推進員活動交流発表会を開催しました。9月末～10月にかけて3回の推進員活動促進研修会を実施し、その研修の成果を地域に持ち帰り、地域で活動した成果の発表を行いました。参加者から活動内容について活発な意見交換があり、今後



温暖化防止活動学習会の様子を報告する山本昇氏

の活動に期待の持てる発表会となりました。参加者の中から推進員の活動について意見交換ができてよかつ

た。今後もこのような機会を設けてほしいとの意見がありました。事例発表のテーマと発表者は下記のとおりです。



グループディスカッション風景

- ① 温暖化防止活動学習会（本庄市：山本昇）
- ② 環境ネットワークよしかわの活動について（吉川市：島崎允行）
- ③ 埼玉県地球温暖化防止対策西部地域協議会連絡会の発足から活動について（新座市：荻原洋志）
- ④ 環境学習の実践（小川町：高橋優子）

埼玉県地球温暖化防止活動推進センターからのお知らせ

1. ストップ温暖化「一村一品」大作戦

(1) ストップ温暖化

“冷やせ！彩の国”コンクール（埼玉県大会）

平成19年10月8日（日）大宮ソニックシティビル市民ホールにおいて応募のあった取組テーマ17件の発表会を開催しました。厳正な審査の結果7件のテーマに絞られ、12月15日（土）に大宮法科学院大学講堂において結果発表会および県代表団体のプレゼンテーションがありました。

(2) 全国大会

平成20年2月9日（土）、10日（日）東京丸ビルにおいて環境省主催によりストップ温暖化「一村一品」大作戦全国大会が開催され、都道府県大会を勝ち抜いた47代表が、それぞれの地域の温暖化防止・CO₂削減の取組をプレゼンテーション形式で発表しました。各代表は、4分の持ち時間の中で各地域の取組内容を寸劇の中で歴史を取り入れたり、子どもが大人に地球の将来は任せておけないなど、独自のパフォーマンスによりおもしろおかしく発表し、会場を盛り上げました。埼玉県代表は、＜地球温暖化防止「はじめの1歩は…エコライフDAY」＞と題して特定非営利活動法人川口市市民環境会議のメンバーが浅羽理恵代表

を中心に発表しました。結果は、優秀賞となりました。川口市で始まったエコライフDAY活動が埼玉県内で展開され、さらに

今では全国へ広がっています。

最優秀賞 京都府立北桑田高等学校（京都府）

地元の木を使って「ウッドマイレージ」を減らそう！

金賞 都留市（山梨県）

回れ！家中川小水力市民発電所「元気くん1号」

銀賞 富山市（富山県）

富山港線のLRT化による公共交通活性化の取組み

銅賞 沼田町（北海道）

雪冷熱を地域資源として

～輝け雪のまち、沼田町の取組み～



川口市市民環境会議の発表状況

2. 「暮らしのエネルギーセミナーinさいたま」を開催しました

平成20年2月26日（火）にさいたま市浦和コミュニティセンター（浦和パルコ内）において関東経済産業局、NPO法人あすかエネルギーフォーラム、埼玉県地球温暖化防止活動推進センターの3者主催（後援：さいたま市）で「暮らしのエネルギーセミナーinさいたま」を開催しました。

今年は、7月に北海道洞爺湖サミットが予定されていることや、今年から京都議定書の第一約束期間が始まることで地球温暖化問題が大きく取り上げられています。

まず「日本のエネルギー事情」と題して関東経済産業局資源エネルギー環境部 総合エネルギー広報室石原係長より説明がありました。日本のエネルギー自給率は4%であり、原油の中東依存率は9割であり、毎日60隻のタンカー



グループディスカッションで行動宣言をする参加者

が日本に向かっていく。日本の技術レベルは非常に高く、今後世界への技術貢献が期待される。家電製品などの普及により家庭での電力消費量

が増加傾向であり、その中でも冷暖房が約3割を占めており、住宅の断熱性の向上等も重要な課題である。風力や太陽光などの自然エネルギーは現状ではコストが高く、不安定であることなどの問題があり大規模導入されていないこと。原子力発電は、発電時にはCO₂を排出しないが、放射性廃棄物の問題は国民みんなで考えて行く必要があると説明がありました。まとめとして、今後京都議定書目標達成のためには即効性があり、可能性があるのは家庭部門の省エネではないか。義務感・悲壮感だけではつまらない、できることから始めて、楽しくやろう、ひとりひとりが行動すれば必ず変わるはずとのことでした。

2部では、テレビ東京のTVチャンピオンスーパー家電道選手権で優勝した、東京電力(株)川越支社の中村剛さんから「HOW TO 省エネ」と題して家電製品の効率的な使い方について実践的な話がありました。

最後に参加者全員でグループディスカッションを行い、今日から行う各自の行動宣言をしました。子供たちの環境教育が重要、古い電気機器を買い替えをする、「節約はお年寄りに学べ」という話も出て、参加されたみなさんは非常に有意義なセミナーであったとの感想でした。

3. 省エネ住宅の意識調査をしました

当センターは今年度も多くの事業を行ないましたが、特に省エネ住宅についての普及啓発活動を積極的に取り組みました。これは環境省の主体間連携モデル推進事業として受託し実施したものです。

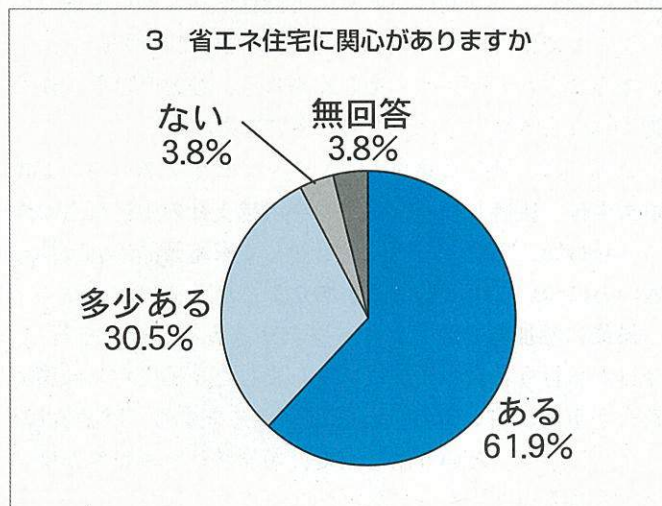
省エネ住宅の目的は、建物全体を遮熱・断熱によって高気密化することによって室内の温度差を少なくし、住環境を快適にさせ、健康、安全、さらに耐久性、性能の高い住宅を提供することです。また住宅の省エネ化によって、冷暖房におけるエネルギーの消費を押えることができ、温暖化を防止することができます。住宅の立て替えのサイクルは約30年と想定すると、省エネ住宅を導入することは、持続的なエネルギーの削減につながり、温暖化防止の効果は高いと予測されます。そのため導入の拡大が現在望まれています。

今回の事業の一貫として省エネ住宅導入へのアンケート調査を行ないました。この調査は、さいたま住宅生協の協力を得て、さいたま市を中心として生協組合員や各イベント会場で来場者対象の聞き取り調査などを交えて、363件の回答を回収しました。アンケートは、省エネ住宅への関心度や導入現状の把握、また導入するための条件や阻害要因、省エネ住宅を普及させるための必要事項などの内容について尋ねました。以下抜粋して結果を紹介します。なお今回のアンケート結果の詳細は当センターのホームページに掲載していますのでご参照下さい。

<http://www.kannet-sai.org/jutaku/index.html>

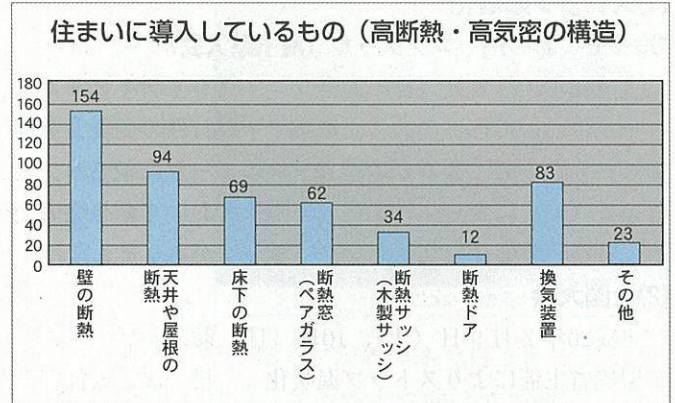
①省エネ住宅への関心度は高い

省エネ住宅への関心は90%以上の人があると回答しています



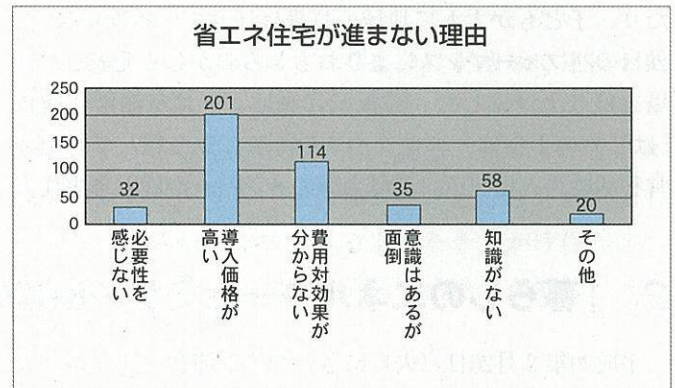
②導入したいものは断熱窓と躯体の断熱化

今後立て替え、リフォームで導入したいものは、窓のペアガラス、断熱材の充填の希望が多くなっています。

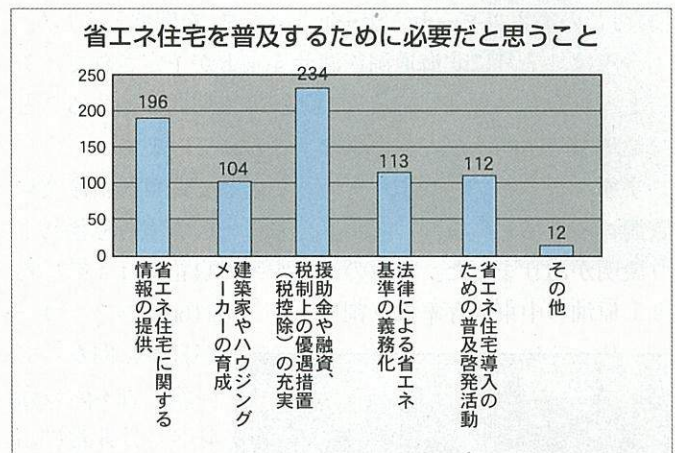


③省エネ住宅が進まない理由はコスト高

価格が高く、費用対効果が分からないという理由が主でした。



④省エネ住宅を推進するためには、費用の補填が必要。普及啓発や情報提供も必要です。



以上の結果から分るように、省エネ住宅に関心や意義について理解は得られていても、導入するための情報やコスト面での優遇制度などが必要と課題は大きいと言えるようです。



地域・会員活動報告



1. 地球温暖化防止地域セミナー in ふじみ野市を開催しました

報告～燃やそうハート冷やそう地球～ふじみ野市環境フェア パート2

ふじみ野市役所環境課 小林 久美

平成19年12月2日（日）ふじみ野市立大井中央公民館において、気象予報士の村山貢司さんを講師にお迎えして「わたしたちにできること～ふじみ野市から地球温暖化を考える～」と題して地域セミナーを開催しました。

地球温暖化についてはテレビや新聞で毎日のように報道されています。「南の島が温暖化の影響で沈んでしまったというニュースもほとんどの人が知っていますが、あまりピンときていないのではないのではないで



熱の入った講演をされる村山 貢司講師

しょうか？」という問いかけとともに、スクリーンに映し出されたのが、水没した両国国技館。2階のテラ

スが1階のように見えました。また、クリスマス前ということもあり、クリスマスのイルミネーションの話題に。「みんなよろこんで見に行ってるんじゃないですか～？テレビのニュースでも温暖化のニュースのあとに、イルミネーションがきれいですというニュースをやっていますが、このおかしさに気づいていないですよ。危機感がない。」と村山さん。ふじみ野市も、温暖化が進むと海岸線が間近に迫る地域であることも知りました。何とかしなければという危機感を持ったところで、私たち一人一人ができることを紹介していただき、今日から実践するぞ！と気持ちを新たにしました。第二部では、「協働の力で環境のまちづくりを」と題し、パネルディスカッションを行ないました。参加者からも色々な質問や意見が出され、大変有意義な時間となりました。

2. 地球温暖化防止地域セミナーin熊谷を開催しました

平成20年2月23日（土）熊谷市立商工会館において地球温暖化防止地域セミナー in 熊谷を開催しました。

まず、NHKで科学・環境番組担当ディレクターの浅井健博氏より「地球温暖化の真実」というテーマで講演がありました。熊谷市は昨年8月16日に40.9℃の日本最高気温を記録しました。熊谷が暑いのは、関東平野の真ん中に位置し、晴れた日には太陽の熱をまとも



NHKディレクター浅井 健博氏の講演状況

に受ける。そこへ東京で汚染された空気とヒートランド現象により熱せられた空気が一緒になって埼玉方向に

流れ、熊谷付近で止まってしまう。そのことによって高気温になってしまうという説明があり



セミナー参加者状況

ました。これまでNHKで放送された温暖化問題の映像を上映しながら、わかりやすい説明がありました。事例発表では、熊谷市を中心として活動している学校での取組として桶川市立加納中学校、市民部門では、グランドワーク吉岡実行委員会の中島氏、企業部門として、中央化学㈱から報告がありました。



環境ネットワーク埼玉からのお知らせ



1. エコライフDAY2007埼玉の結果 (平成20年3月19日推定)

今年度も多くの県民の方々がエコライフDAYに参加されました。詳細は

<http://www.kannet-sai.org/ecolife/result2007.html>を参照ください。

- ・平成19年度参加者数：61万人
- ・参加団体数：1670団体
- ・1日の取組み成果としてCO₂換算：420トン
- ・参加者数：(夏) 33.7万人 (冬) 27.3万人

2. 貸し出ししています

(1) 新しいパンフレットができました

- ・今日からSTOP地球温暖化(改訂版)
- ・省エネ住宅でくらし・快適・地球温暖化
- ・子ども向けパンフレット

(2) パネル

- ・エコライフDAY関係
- ・温暖化関係
- ・省エネ住宅関係
- その他、DVD(地球温暖化シュミレーション他)、ソーラークッカーがあります。是非ご利用ください。

3. 平成20年度「特定非営利活動法人 環境ネットワーク埼玉」総会を開催します。

右記のとおり開催します。講演会も予定しておりますので会員でない方も参加できます。

講演テーマ「日本のエネルギー事情」(予定)

講師 石原 優氏(関東経済産業局)

(1) 日時 平成20年6月21日(土)
13:30~16:30

(2) 場所 大宮ソニックシティビル602会議室

(3) その他 詳細については別途ご連絡します。

4. “センターだより”の原稿募集について

“センターだより”を半年ごとに発刊しています。当団体の行事や地域や会員団体・企業でのいろいろな活動について原稿を募集しています。皆様方から

情報を発信していただき、この情報誌を交流の場の一つとしてご利用ください。是非皆様からのホットな活動や話題をお待ちしております。

5. 特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉会員募集について

(申込みに関する詳細につきましては事務局までご連絡ください。)

正会員(1口当たり)

会費種別	個人会員	団体会員(非営利)	団体会員(企業)
年会費	5,000円	5,000円	50,000円

賛助会員

会費種別	個人会員	団体会員(非営利)	団体会員(企業)
年会費	2,000円	2,000円	10,000円

6. ホームページについて

当センターではホームページを開設しています。その中にある「環境ネットワークプラザ」には、埼玉県内をはじめとするイベント情報や当団体会員名簿、環境保全団体名簿、協働や助成金の情報を掲載しています。また、交流スペースとなっていますので、情報、事例など、どんな小さいことでも構いませんのでどしどしお寄せください。連絡先は、info@kannet-sai.orgまで



編集・発行

発行日 2008年3月20日

埼玉県地球温暖化防止活動推進センター/特定非営利活動法人環境ネットワーク埼玉

さいたま市大宮区桜木町1-7-5 大宮ソニックシティビル30階

TEL: 048-649-8087 FAX: 048-649-8088 <http://www.kannet-sai.org/>

開館日・時間 平日、土・日、祝日 午前10時~午後6時(水曜日休館)

場合によっては、臨時休館日があります。情報やお知らせ等、是非お寄せください。